



◀ さるとりいばら
(ゆり科)



秋には赤い実をつける。

▲ 茎にはトゲがあり、托葉は巻きひげとなる。
花は葉のつけ根に淡黄緑色をしてかたまって咲く。

花期 4~5月

草たけ つる性の植物

生育地 林の中

○托葉(たくよう)

葉の柄の基部につく、ふつう一対の小さい葉の形をしている。

ときには、トゲやツルになる。

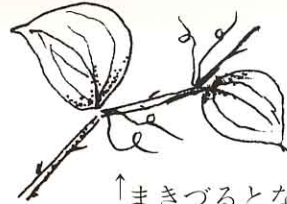
「さるとりいばら」では、まきづるとなる。

花は淡青色をしている。葉や茎をもむと、きゅうりのようなにおいがする。

花期 4~5月

草たけ 10~30cm

▼ 生育地 道ばた、原野、庭



↑まきづるとなった托葉



◀ きゅうりぐさ
(むらさき科)



▲ 早春のきゅうりぐさ